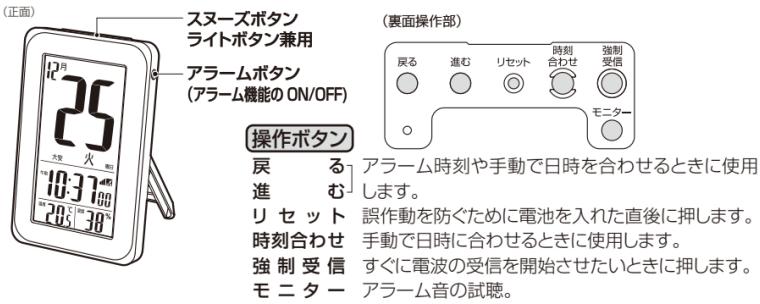


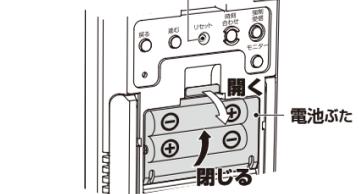
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

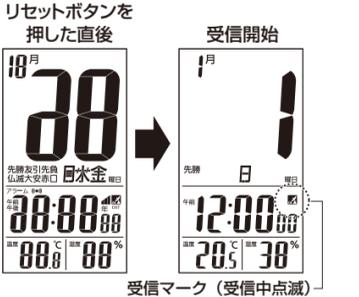
1 電池を入れ、標準電波を受信して日時を合わせる

（裏面）リセットボタンを爪楊枝など細いもので押す

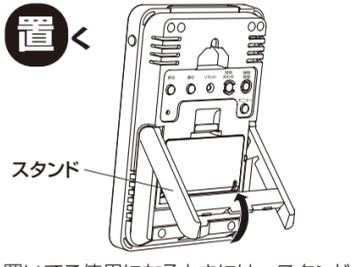
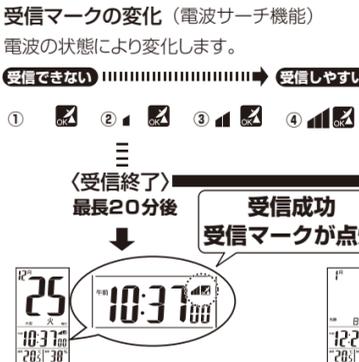


- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単4形アルカリ乾電池を2個入れる。
※電池の⊕⊖を逆向きに入れますと液もれ、発熱、破裂の危険があります。
- 電池ふたを閉じる。

【受信の流れと表示】



受信マークの変化（電波サーチ機能）電波の状態により変化します。



置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定した所に設置してください。

標準電波を受信できない場合

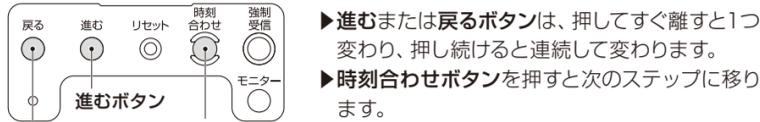
- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にし、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

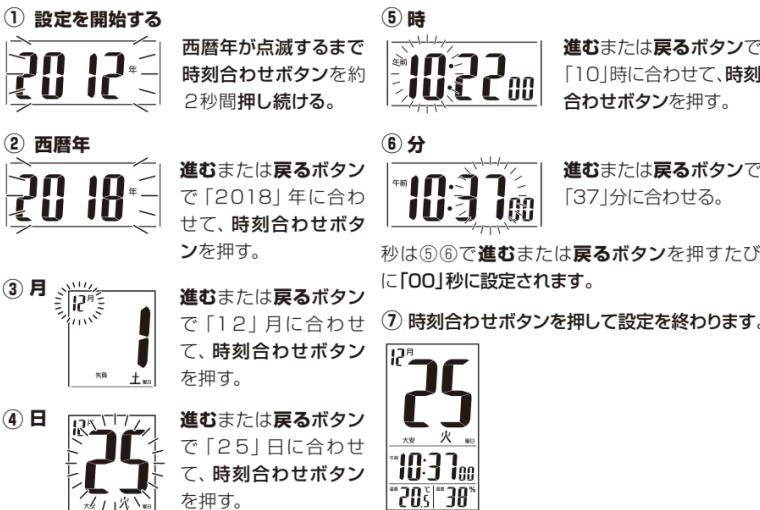
ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、平均月差 ±30 秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。



- 電波受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても、自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる



標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電池を入れる
電池を入れると「ピ」と鳴ります。※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
- リセットボタンを押す
「ピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。※受信中はボタンに触れないでください。
- 20分待って受信結果を確認する
受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。【受信の流れと表示】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して、受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

- 次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの地下など
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く

チェック!

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



午前/午後への表示に注意



- ①アラームボタンを押してアラームマーク(●●)を消す
- ②進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる
現在の時刻表示に戻ります。

アラーム機能のON/OFF設定



アラームボタンを押すとON/OFFが切り替わります。ONにすると約2秒間アラーム時刻を点滅表示してから現在時刻の表示に変わります。ON 設定時刻にアラームが鳴りだします。OFF アラームを止める、鳴らさない。

●●アラームマーク ON 表示 OFF 消灯

時刻表示中にアラーム時刻を確認するには
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離してください。約5秒間アラーム時刻を点滅表示します。

アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラーム機能はONのままです。

スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すとアラームが止まり、約5分後にまた鳴り出します。スヌーズは7回まで繰り返すことができます。8回目はアラームは止まります。アラーム機能はONのままです。

アラーム音の試聴（モニターボタン）

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターボタンを押してください。

電波の受信中、日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

アラームご使用上の注意

アラーム機能がONのままでは、毎日アラームが鳴りますので、アラームを使わないときは、アラーム機能をOFFにしてください。

照明について

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンが押されると約3秒間液晶表示面を照明します。照明されているときは、正面上方より見てください。また、明るい所では照明の効果は確認できません。

表示について

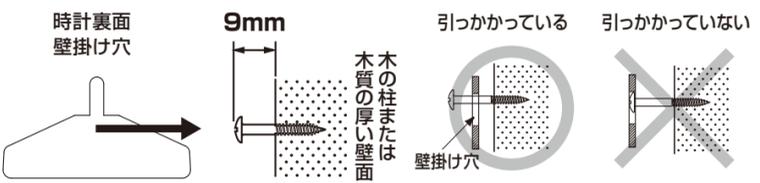
六曜について



旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。○六曜は2012～2030年まで対応。2030年以降は表示されません。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

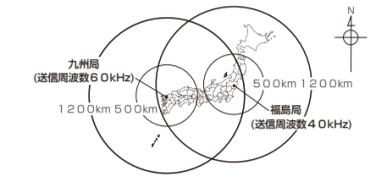
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局・おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で日時を合わせる)

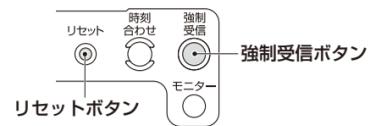
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○「ピ」と鳴ってから押してください。

○OFFになると「ピ」と鳴りません。

○日時は手動で合わせてください。

強制受信とリセット操作



受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2012年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00、アラーム機能がOFFになります。受信機能がONのときは、受信を開始します。